

## 1 科学の甲子園全国大会 総合第1位で初優勝・文部科学大臣賞受賞！！

3月19日（金）～21日（日）につくば市で行われた「第10回科学の甲子園全国大会」において、サイエンス部競技科学班のチームが見事、《優勝》しました。

2年1組 宗野真幸、高畑倫太郎、田中友翔、徳田陽向（キャプテン）

2年2組 飯田健太、小田涼一郎、関子龍、嶽釜伸太郎

この大会は、全国の606校の中から選抜された各都道府県代表47校が筆記競技、実技競技3種目において競い合うものです。本校は総合成績で《優勝》となり、文部科学大臣賞、CIEE Japan/ETS TOEFL 賞、副賞としてサイエンスオリンピック全米競技会への参加権を獲得、さらに実技競技③で第1位となり、優秀賞を受賞しました。



昨年の大会は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ中止となり、今年も開催が危ぶまれましたが、日程を1日短縮し、感染の危険性の高いイベントを中止するなど、徹底的に感染対策を講じることで開催されました。当日は、全ての競技において手応えを感じ、高得点を獲得していることを確信していましたが、優勝できたことにはメンバー全員が驚き、洛北の名前が呼ばれた瞬間は鳥肌が立ちました。

今後、サイエンスオリンピック全米競技会（オンライン開催）への参加に向けて一層の努力をしていきます。

## 2 第31回日本数学オリンピック優秀賞受賞！

日本数学オリンピック（JMO）は国際数学オリンピック（IMO）に参加する日本代表選手6名を選考する数学コンテストです。今回は日本全国から4870名の応募がありましたが、コロナ感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。2年1組徳田陽向君は1月に行われた予選を見事突破し、2月に行われた本戦で金賞1名・銀賞1名・銅賞3名に続く優秀賞（19名）を受賞しました。徳田君はこれらの受賞者24名が参加する国際数学オリンピックロシア大会日本代表選手選考合宿（3月20日～24日・東京）へ参加し、全国から集まった強敵達と戦いました。結果がわかるのはもう少し先になりますが、6名の日本代表に選ばれて、世界の舞台で力を発揮してくれることを期待しています。

## 3 課題探究Ⅱ 生徒研究発表会

本校サイエンス科高校2年生による課題探究Ⅱは、コロナ禍による様々な困難を乗り越えて、3月11日（木）ついに生徒研究発表会を開催して大団円となりました。春の休校によるスタートの遅延から始まって、アドバイザーである大学の先生たちと直接会うこともできず、発表会も例年のように多くの観衆が集うこともなくオンライン開催になりましたが、それでも、生徒らはほんとうに立派にやり遂げました。過去の先輩たちと比べても類のないほど前向きな取組の成果は、すばらしい発表や論文として結実したのです。園部高校、福知山高校、南陽高校をゲストに迎えたオンライン発表会は、来賓の先生方をはじめ多くの先生方の参加を得て、3時間続く熱い大会となりました。この取組に関わった全ての先生方にあらためて御礼を申し上げるとともに、来年はさらに素晴らしい発表を得て一層の盛会となることを期待します。

## 4 府立医大連携事業 特別講義「時間と生命～身体の中にある時間を知る仕組み～」

2月3日（水）の放課後に、京都府立医科大学連携事業プログラムサイエンスチャレンジ『時間と生命～身体の中にある時間を知る仕組み～』を実施しました。

緊急事態宣言中ということもあり、Zoomを用いたリモート講演を、京都府立医科大学統合生理学教室の八木田和弘教授にいただきました。八木田教授が大学生だったころのエピソードを交えながら、京都府立医科大学の紹介や医学生として学ぶことの意義を伝えていただいたのち、体内時計についての講義をしていただきました。講義のあとは、生徒から積極的に質問があり、活発な質疑応答が行われました。



## 5 文理コース1年 生命科学基礎 特別講義（1年）「昆虫と微生物の共生進化」

産業技術総合研究所の深津武馬先生を講師にお迎えして昨秋から連続3回開講された特別講義も、高校1年生の3～6組を対象に行われた3月12日（金）4限が最後となりました。進化生物学研究の最前線を先頭に立って牽引する深津先生の講義は、今回も多く生徒にとって驚異と学問の面白さが詰まったものでした。生徒アンケートにも「まさか細菌のせいで性転換が起こるとは」とか「寄生する細菌がそこまで宿主の生活を変えてしまうなんていうことがあってもいいのか」とか「いくらなんでも深津先生が（まさか！）吸血されるとは」、など大きな反響が感じられました。講義は終わりましたが、クラスを跨いで多くの生徒が講義の感想で盛り上がりつつあるといいですね。

## 6 文理コース2年 地球科学基礎 特別講義（2年）「難民問題と環境問題」

3月15日（月）に、総合地球環境学研究所の宗田勝也研究員によるオンライン特別講義を実施しました。「難民」という言葉の定義から地球環境問題が難民を作り出し始めていることを知り、私たち日本人はそこにどのように関わることができるのかを考えるきっかけとすることができました。生徒からは、「同情して何もしないよりは批判的でも向き合うことが大切だ」などの感想が出ていました。



## 7 第17回日本物理学会 Jr.セッション2021 奨励賞受賞！

3月13日（土）に日本物理学会のJr.セッションが行われました。例年は日本物理学会が行われている会場での開催となりますが、今年度はZoomでの参加となりました。液状化現象という難しい研究を行いました。相変化とみられる大きな変化が実験によって得られました。結果に対する考察にも力を入れ素晴らしい発表ができ、奨励賞を受賞しました。

